

貴重樹木等保護保存セミナーを開催しました

平成十九年十月二十八日(日)、高山市において「第十五回貴重樹木等保護保存セミナー」を開催しました。飛騨地域での開催は二回目となりましたが、県内各地から多くの方にご参加いただきました。

今回のセミナーではテーマとして「あなたの身近な樹木、それが貴重樹木です」を掲げ、岐阜県緑の博士(グリーンドクター)が講師となり、午前中飛騨総合庁舎にて講義を行い、午後より城山公園にて現地研修を行いました。

講義では、樹木の持つ価値やその機能を知ること、樹木の貴重さとは何かを再認識して頂くことを目的として「身近な樹木の実態」「樹木の持つ多面的機能」「飛騨地域におけるマツノサイセンチュウの現状」「樹勢回復技術の紹介」といった各内容で講演を行いました。

現地研修では、参加者の方に地域の樹木サポーターとなって衰退木を早期発見して頂くために、公園内の樹木を観察しながら樹の表情を読み取る「外観診断」や土壌の透水性、土壌硬度を測定する器材を使つての「土壌調査」、幹の空洞化を調査する器具(レジストグラフ)を使つて幹折れの危険性を判定する「危険度調査」、マツノサイセンチュウ防除の



現地研修(樹木診断)

為の「薬剤樹幹注入」などの研修を行いました。実際に目で見て、手で触つての研修に参加者の方も積極的に参加され、活発な質疑応答が行われました。

セミナーは晴天にも恵まれ、参加された方の熱意によって充実した内容となりました。今回のセミナーを通じて感じなごは、参加者の方々の貴重樹木に対する保



緑の博士協会会長 あいさつ

護保存への意識が高いこと、専門的知識を学ぶ場を多く求めていることでした。地球温暖化など環境問題が問われる中で、樹木を保護していく為には、樹木に対する専門的知識を持つことは大変重要なことです。しかし、持続的に守っていくためには貴重樹木だけではなく、周りの環境、周りの緑すべてを守っていくことが重要であり、その為には一人でも多くの方が意識を持ち、地域全体で取り組む必要があると思います。その中で全国でも有数の天然記念物を持つ私たち岐阜県民が出来ることは数多くあるように思います。



現地研修(土壌調査器具の説明)

最後に、家庭で苗木を植える時に、貴重だなどと思つて頂ければ今回の意義があったと思えます。

【岐阜県緑の博士飛騨ブログ 松井良二】

久瀬みどりの少年団 全国育樹祭大会会長賞を代表受賞!

十一月四日、熊本県阿蘇市において「第三十一回全国育樹祭」が開催されました。その併催行事として、十一月二日に「全国緑の少年団活動発表大会」が熊本市で開催され、全国各地の緑の少年団から特に優秀として選考された五団体が活動発表を行い、「みどりの奨励賞(国土緑化推進機構理事長賞)」を受賞しました。

この五団体の一つに「久瀬みどりの少年団」が選ばれました。岐阜県みどりの少年団から四年連続して「みどりの奨励賞」を受賞しており、「木の国・山の国」である岐阜県の少年団の実力を感じることができました。

さらに、活動発表の審査の結果、「全国育樹祭大会会長賞」の代表受賞団体に久瀬



全国育樹祭式典にて 大会会長賞代表受賞



全国緑の少年団活動発表大会 みどりの奨励賞受賞

みどりの少年団が選ばれ、全国育樹祭の式典において皇太子の目の前で福田五月参議院長(大会会長)から大会会長賞を授与される栄誉も得ました。

久瀬みどりの少年団は、「桜を育て緑を守る活動」を主軸に、郷土の自然、森林の役割及び林業など地場産業について理解を深める取り組みをしています。日頃の活動の成果が認められて、全国に発信することができたと喜んでいました。

今後も、みどりの少年団がますます活躍し、緑や森林について学び、岐阜の豊かな自然を守る担い手になってくれることを期待しています。

【林政課緑化運動担当 大亦彩恵】